

## イラン新最高指導者モジタバ師の初演説の全文

イランの新最高指導者、アヤトラ・モジタバ・ハメネイ氏は3月12日、国営テレビで読み上げられるという形で、就任後初の公の演説を行った。

### 要旨

偉大な指導者たちの後を継ぐのは重い責務で**国民の支えが不可欠だ**。戦時下での**団結・社会参加・相互扶助**を求める。戦闘員（軍・革命防衛隊・抵抗勢力）へ感謝する。敵への「後悔させる防衛」と**ホルムズ海峡封鎖を継続**、必要なら「他の戦線」も開く。空爆や攻撃で被害を受けた国民に無償治療と被害補償の実施を政府に命じる。「殉教者の血の復讐」は最優先課題、**報復は完遂されるまで続く**。米軍基地を利用した周辺国に対し、**基地閉鎖を強く要求**、さもなくば「米軍基地のみを標的に攻撃を継続」する。殉教した前最高指導者への誓いとして、革命の旗を掲げ続ける決意だ。

以下は、演説の全文です。パキスタンの DWAN が報じた英訳から翻訳

<https://www.dawn.com/news/1981500?utm>

平安あれ、神へと招き、神の御しるしを正しく解き明かす導かれた者よ。

平安あれ、神へと通じる門であり、神の宗教の守護者であるあなたよ。

神の御名において、神の代理者であり、神の真理を守る者よ、平安あれ。

平安あれ、神の証し、神の御心の導き手よ。

平安あれ、よき人よ。あなたは選ばれ、人々の希望を託された者である。

万物を包み込む挨拶とともに、平安あれ。

主よ、時の主よ、あなたに平安あれ。

革命の輝かしい指導者であり、賢明で愛されるハメネイ師の、胸が張り裂けるような殉教に対し、私の師であるイマーム・マフディに哀悼の意を表したいと思います。

私は、偉大なるイラン国民の一人ひとりに、いや、世界中のすべてのイスラム教徒、イスラムと革命の奉仕者たち、献身的な信徒たち、そしてイスラム運動の殉教者たちの遺族、とりわけ最近の紛争で犠牲となった方々のために、御慈悲の祈りを捧げてくださるよう、その聖なる御前に懇願いたします。さらに、私という、取るに足らない身のためにも、どうか御祈りを賜りますよう、謹んでお願い申し上げます。

私の演説の第二部は、偉大なるイラン国民に向けたものです。

まず初めに、尊厳ある専門家会議の投票に関する私自身の立場について、簡潔に述べさせていただきたい。私、皆様の僕であるモジュタバ・ホセイニ・ハメネイは、イスラム共和国の放送を通じて、皆様と同じタイミングで同会議の決定を知ったのである。

偉大なるホメイニ師と殉教者ハメネイ師という、二人の偉大な指導者の後を継ぐのは、私にとって容易なことではありません。

この地位にはかつて、60年以上にわたり神の道を歩み、あらゆる快樂を断ち続けた人物が就いており、その人物は輝かしい宝石となり、この国の統治者たちの歴史において傑出した存在となりました。

彼が殉教した後、私はその遺体を拝見する光榮に浴しました。私の目に映ったのは、圧倒的な強さの象徴であり、負傷した手の拳が固く握りしめられていたと聞かされました。

そのような方の後を継いで指導者となるのは容易なことではありません。その空白を埋めることができるのは、神の御加護と、諸君の支援があってこそなのです。

もしイラン国民の力が現場で発揮されなければ、指導者も、そして国民に奉仕することこそが真の尊厳であるはずの様々な国家機関も、必要な実効性を発揮することはできないでしょう。

イラン国民が現場で実効的な存在感を維持し続けなければなりません。それは、この数日間の戦時下で皆さんが示してきたような姿勢だけでなく、社会、政治、教育、文化、さらには安全保障といった様々な分野への参画といった、多様な形を通じて行われるべきです。

クッズ・デーの集会に参加することの重要性を改めてお伝えします。そこでは、敵を打ち砕こうという気概を、皆が心に刻まなければなりません。

互いに助け合い、支え合うことを怠ってはなりません。神の恵みにより、これは常に多くのイラン人の美德であり、特に今のような時期 当然ながら、人によってはより厳しい状況にあるでしょう には、この美德がより一層輝きを放つことが期待されます。

私はすべての支援機関に対し、困窮している国民を助けるために全力を尽くすよう呼びかけます。

これらの指針が守られれば、愛する国民であるあなた方の、偉大さと栄光に満ちた日々への道は、より平坦なものとなるでしょう。神の御心があれば、その最も差し迫った現れは、現在の戦争における敵への勝利となるでしょう。

私の演説の第三部は、勇敢な戦士たちへの心からの感謝の意を表すものです。愛する祖国が『傲慢の陣営』を率いる諸国から不当な攻撃を受けている今、私は勇敢な戦士たちに心から感謝いたします。

イランの戦士たちは、その圧倒的な一撃によって敵の進路を断ち切り、我らが愛する祖国を彼らが支配し、あるいは崩壊させることができるという幻想を打ち砕きました。

親愛なる戦友たちよ！イラン国民が望んでいるのは、敵に後悔させるような効果的な防衛体制の継続です。

さらに、ホルムズ海峡を封鎖するという手段は、今後も確実に活用し続けなければなりません。

敵の経験が乏しく、極めて脆弱な他の戦線を開設することについて、研究が行われてきました。もし戦争が続けば、特定の利益に基づき、そうした戦線の展開が行われることになるでしょう。

抵抗戦線の戦士たちに心から感謝します。我々は抵抗戦線の加盟国を最も親しい友人とみなしており、抵抗運動と抵抗戦線の理念は、イスラム革命の価値観と切り離せないものです。間違いなく、抵抗戦線のメンバー間の協力は、シオニストの反乱を鎮圧するまでの道のりを短縮することになるでしょう。

私たちは、忠実なイエメンが、ガザの抑圧された人々を守ることを決してやめなかった様子を目の当たりにしてきました。あらゆる困難にもかかわらず、自己犠牲の精神にあふれるヒズボラがイスラム共和国の救援に駆けつけ、イラクの抵抗勢力も勇敢にも同じ道を歩んできました。

第4部では、ここ数日間に被害を受けた方々 愛する人の殉教という悲しみを味わった方々、負傷された方々、そして自宅や事業所が被害を受けた方々に向けて、私の言葉を捧げたいと思います。

殉教者のご遺族の皆様には心からのお見舞いを申し上げます。私自身も、こうした尊い方々と同じような経験をしてきました。父に加え、献身的な妻、自己犠牲を厭わない妹とその幼い子供、そしてもう一人の妹の夫も、殉教者の列に加わりました。

しかし、災難に直面しても忍耐を可能にし、さらには容易にさえしてくれるのは、忍耐強い者には大きな報いが与えられるという神の確かな約束を心に留めることである。それゆえ、人は忍耐強くあり続け、全能者の恵みと助けに希望と信頼を置かなければなりません。

私は皆さんに断言します。私たちは、殉教者たちの血の復讐を断念することは決してありません。

我々が心に抱く復讐は、革命の偉大なる指導者の殉教だけによるものではありません。敵によって殉教させられた国民の一人ひとりが、我々に復讐を求めるべき個別の事例なのです。

殉教者たちの血に対するこの復讐の一部は、すでに目に見える形となって現れています。しかし、完全に復讐を果たすまでは、この問題は他のいかなる問題よりも優先されるでしょう。子供たちや乳幼児たちの血に関しては、我々はさらに強い思いを抱いています。

ミナブのシャジャラ・タイバ学校に対して敵が意図的に犯した犯罪や、その他の同様の事件については、この報復の過程において特に重点が置かれることになるでしょう。

負傷者は、適切な医療サービスを無償で受けられるとともに、その他の措置の恩恵を受けなければなりません。そして、現状が許す範囲内で、私有財産に生じた経済的損失を補填するために、十分かつ明確な措置を講じなければなりません。

これら最後の2点は、貴殿ら高官にとって必須の義務であり、これを履行し、私に報告しなければなりません。

いずれにせよ、我々は敵から賠償金を徴収します。もし彼らがこれを拒否すれば、我々は適切と判断する範囲で彼らの資産を差し押さえます。それが不可能な場合は、同等の価値の資産を破壊します。

私の演説の第5部は、近隣諸国の指導者たちに向けたものです。我々は15カ国と国境を接しており、これまで一貫して、そして今もなお、これらの国々との友好的な関係を望んでいます。しかし長年にわたり、敵はこの地域における支配を確固たるものにするため、これらの国々のいくつかに軍事拠点や資金拠点を築いてきました。

今回の攻撃では、こうした軍事基地の一部が利用されました。当然のことながら、我々が事前に明確に警告していた通り、当該地域の国々自体に対しては一切の攻撃を行わず、現地の米軍基地のみを標的としました。今後も、この方針

を継続せざるを得ません。とはいえ、近隣諸国との友好関係を築く必要性については、引き続き重視してまいります。

この地域の各国は、私たちの愛する祖国を攻撃し、同胞を殺害した侵略者たちに対して、自らの立場を明確にしなければなりません。

私は、この地域の各国指導者に対し、それらの（米国の）基地をできるだけ早く閉鎖するよう勧めます。なぜなら、米国が掲げる『安全保障と平和の確保』という主張が、単なる嘘に過ぎないことは、彼らも今や確実に気づいているはずだからです。

この地域にある米軍基地を閉鎖すれば、各国の政府は、基地に伴う屈辱的な扱いに概して不満を抱いている自国民との絆を強めることができるでしょう。また、それによって各国の富と権力も増大することになります。

繰り返しますが、イスラム共和国は、この地域における支配や植民地化を追求することなく、団結に万全の態勢を整えており、すべての近隣諸国と温かく誠実に互恵的な関係を築く用意があります。

第六部では、殉教された指導者様について述べます。指導者様よ！あなたの逝去により、私たち全員の心は悲しみに包まれました。あなたは常にそのような運命を切望しておられましたが、ついに全能の神が、祝福されたラマダーン月の10日目の朝、あなたが聖クルアーンを朗読されている最中に、その願いを叶えてくださったのです。

あなたは多くの弾圧に耐え忍び、決してひるむことはありませんでした。殉教された私たちの指導者よ！多くの人々は、あなたの真の価値に気づくことはありませんでした。おそらく、幾重ものベールや覆いを取り除かれ、あなたの偉大さのさまざまな側面が明らかになるまでには、長い時間がかかることでしょう。

輝かしい魂たち、真実を貫く者たち、殉教者たち、そして神の友たちと共に過ごすことで与えられた近さを通じて、あなたがたがこの国と抵抗戦線のすべて

の国の発展をこれからも見守り、彼らのために取り成してくださることを願っています。

殉教された指導者よ！私たちは、真実戦線の主たる旗であるこの旗を高く掲げ、あなたの神聖な目標を実現するために、全身全霊を尽くして奮闘することを誓います。

第7部では、ご支援を賜ったすべての方々に感謝申し上げます。すなわち、宗教界の重鎮、文化・政界の要人、そして忠誠を新たにするために集まってくださった皆様です。

また、三権の政府関係者および暫定指導評議会の皆様が、的確な運営と措置を講じてくださったことに感謝いたします。

この祝福に満ちた日々における神の特別な恵みが、イラン国民全体、すべてのイスラム教徒、そして世界中の抑圧された人々に及ぶことを願っています。

最後に、カドルの夜と祝福されたラマダーン月の残りの日々において、主が全能なる御方から、我が国が敵に対して決定的な勝利を収めること、そして尊厳と幸福を授かるよう、また、この世を去った人々のために来世における高き地位が与えられるよう、主にお願い申し上げます。

あなたに平安あれ。神の慈悲と祝福と平安があなたにありますように。

【翻訳チェック 田中靖宏】